

## 2019 年第 1 四半期 イスラエル国内の 企業買収総額は 105 億米ドルに到達

Jakore Inc.、Yony Golan

2019 年 4 月は日本政府による新元号「令和」の発表とともに始まった。徳仁親王が天皇に即位する 5 月 1 日に施行され、新たな時代が幕を開ける。

安倍晋三首相は記者会見で新元号には「人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ」という意味が込められている」と述べ、「厳しい寒さの後に見事に咲き誇る梅の花のように、一人一人の日本人が希望とともに花を大きく咲かせることができる日本でありたいという願いが込められている」と続けた。

イスラエル国内のスタートアップ・エコシステムは安倍首相の言葉を借りれば「厳しい寒さの中でも咲き誇って」おり、Mellanox の巨額のイグジット (NVIDIA により 69 億ドルで買収) を含めると第 1 四半期の買収総額は 105 億ドルを超える。

Mellanox のイグジットを無視しても、デジタル・トランスフォーメーションでサポートを必要とする McDonald や Walmart のようなアナログ企業や、革新的なプロダクトによってデジタル優位性を高めたい Google、Amazon、Palo Alto Networks のような IT 大手など、米企業による買収は継続的に行われている。

表 1：米国とイスラエル間の取引

被買収企業	事業分野	買収額 (米ドル)	買収企業	拠点国
Mellanox	半導体	69 億	NVIDIA	米国
Dynamic Yield	IT & 企業アプリ	3 億	McDonald's	米国
OrthoSpace	ライフサイエンス	2.2 億	Stryker	米国
Pointer Telocation	通信	1.4 億	ID Systems	米国
ZoomInfo	IT & 企業アプリ	8 億	DiscoverOrg	米国
CloudEndure	IT & 企業アプリ	2 億	Amazon	米国
Luminate	IT & 企業アプリ	2.25 億	Symantec Corp.	米国
Alooma	IT & 企業アプリ	1.5 億	Google	米国
Demisto	IT & 企業アプリ	5.6 億	Palo Alto Networks	米国
Attunity	IT & 企業アプリ	5.6 億	Qlik Tech	米国
Aspectiva	IT & 企業アプリ	非公表	Walmart	米国
IDE	クリーンテック	1.46 億	ALFA Partners	米国

米国の後ろを中国企業が追っている。AR インフラ関係のスタートアップを買収（金額は非公表）した Alibaba は、Apple や Magic Leap などの米企業に対抗すべく革新的な新技術を探してイスラエルのスタートアップに目を光らせている。

その他にも従来型の自動車関連企業 TUS International がコネクテッドカーのソリューションを取得するために通信関係の企業を買収した。

表 2：中国とイスラエル間の取引

被買収企業	事業分野	買収額 (米ドル)	買収企業	拠点国
Infinity AR	IT & 企業アプリ	非公表	Alibaba	中国
Telit (自動車部門)	通信	1.5 億	TUS International	中国

米中両国の陰に隠れているものの、韓国企業 Samsung による画像処理関連のスタートアップ買収は見逃せない。これには（自動車やモバイル端末向け）カメラの機能を強化してサードパーティサプライヤーへの依存を減らす狙いがある。

また、イスラエルのセキュリティ会社 RAFAEL は同国の無人航空システム企業を買収した。

表 3：イスラエルと韓国間（および国内）の取引

被買収企業	事業分野	買収額(米ドル)	買収企業	拠点国
Corephotonics	半導体	1.55 億	Samsung Electronics	韓国
Aeronautics	その他のテクノロジー	2.34 億	RAFAEL	イスラエル

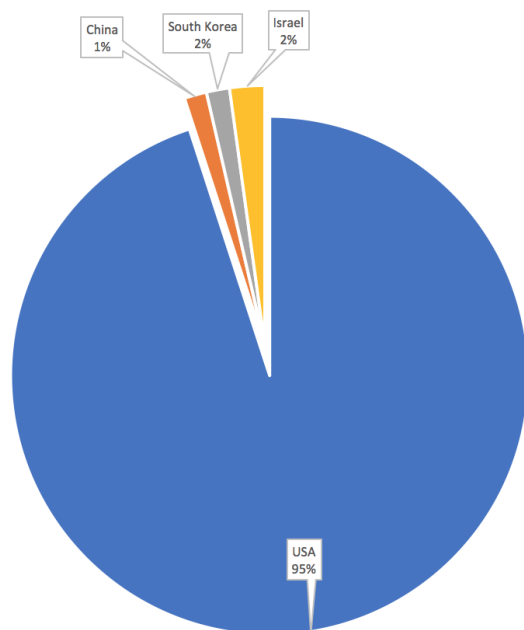
スピードを重視する企業：

2019 年第 1 四半期の買収チャートをリードしたのは NVIDIA を筆頭とする半導体業界だった。市場を主導しているのはスピーディーで長期的な戦略を持っている IT 企業であり、動きの遅い企業の待つほど市場はのんびりとしていないようだ。

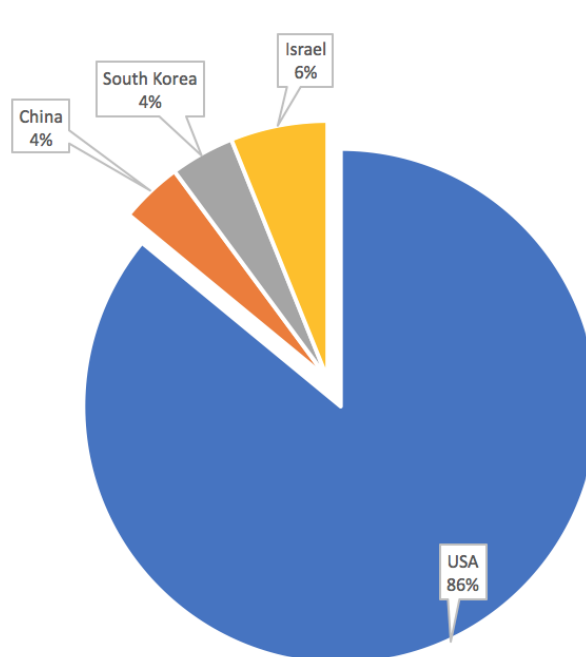
また、イスラエル市場でデジタル・トランスフォーメーションのサポートを探しているアナログ企業の姿もある。

買収企業の拠点国の内訳 (2019 年第 1 四半期) は次のグラフの通りである。

グラフ 1：イスラエル市場の  
国別買収額内訳



グラフ 2：イスラエル市場の  
国別買収額内訳 (Mellanox を除く)



最後に再び安倍首相の言葉を借れば、厳しい寒さの中でもグローバル企業による買収が活発なイスラエル市場は、90 年代以降、経済成長の低迷という長く厳しい寒さに耐えてきた日本企業が大きく花を咲かせるのに最適な地と言える。世界有数のイノベーティブな経済大国、日本の企業によるイスラエル企業の買収が加速することが期待されている。

日本とイスラエル両国が互いに深く寄り添うことができれば、ともにイノベーション文化を育むことができるだろう。